

発行：株式会社大地を守る会  
千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟21階

TEL 043-380-7760 csr@member.daichi.or.jp  
FAX 043-213-5513 http://www.daichi.or.jp/

大地を守る会  
DAICHI WO MAMORU KAI 



## 新たな火を灯す 100万人の キャンドルナイト。

「でんきを消して、スローな夜を。」

2003年、100万人のキャンドルナイトは、そんなシンプルな呼びかけから始まりました。  
決まっているのは、夏至と冬至の夜2時間、電気を消してキャンドルを灯すことだけ。

日本だけでなく、世界にも広がってきました。  
今年もまた、みんなでスローな夜を過ごしましょう。

大地を守る会  
社長 藤田和芳

# 一粒 万倍

今から40年くらい前までは、有機農業という言葉すらありませんでした。農薬を使うのは当たり前で、無農薬で農業をするなどと言うと「村八分」にされるようなことがあったのです。地域で一人だけ農業を使わないのは、村の秩序を乱す行為だと批判されました。この場合は「ヘンな者として扱われる」くらいでしたが、もし、本物の「村八分」が発動

されたら大変なことでした。かつて日本の農村には、掟を破った者を村の相互扶助の仕組みから排除する「村八分」という制裁がありました。村には成人式、結婚式、出産、病気、新改築、水害時、年忌法要、旅行、葬式、火事の十分の共同行為があり、掟を破った者には制裁を加えるが、葬式と火事の二分の制裁だけは外すというものです。掟を

破った者でも完全に排除せず、葬式と火事だけは助けたのでした。息の根を止めない。共同体の持つ優しさだったのかもしれませんが。それにしても、無農薬で農業をしているというだけで「村八分」にされたのではたまりませんね。今はもう、そんなことはなくなりました。どこの農村でも有機農業は立派に市民権が得られるようになりました。

# より多くの人と

# ゆるやかなつながるために。

キャンドルナイトの過ごし方は人それぞれ。揺れる灯りのもとで食事をしたり、大切な人を思ったり、これからの地球について考えたり。皆さんがより気軽に参加できてつながりが感じられるものによつと、14年目を迎える今年、

ソーシャル・ネットワーキング・サービス(人とのつながりを促進するウェブサイトを以下、SNS)の力も借りることにしました。これまでの歩みを振り返りながら、電気を消してキャンドルに火を灯すことの大切さを見つめます。

## カナダの自主停電運動にキャンドルの灯りをプラス。

始まりは2001年のこと。アメリカのブッシュ政権のエネギー政策に反対して、カナダで自主停電運動が起こりました。日本でこの流れに参加したのが、大地を守る会とお付き合いのある明治学院大学教授・辻信一さん。キャンドルの灯りだけで過ごすイベント「暗闇カフェ」を開催しました。翌2002年には大地を守る会の会長・藤田和芳が大地を守る会の会員へ「電気を消してキャンドルを」と呼びかけると、「ベランダで夜空を見て過ごした」「ゆっくりお風呂に入った」など、楽しい感想が続々。それを受けて、辻さんや東京都市大学教授・枝廣淳子さん、クリエイティブディレクター・マエキタミヤコさんなどにも呼びかけて、2003年に「100万人のキャンドルナイト」が始まりました。



NGO・ナマケモノ倶楽部代表でもある辻信一さん



NGO・ジャパン・フォー・サステナビリティ代表でもある枝廣淳子さん

### Back Ground 背景

#### Message from Shinichi Takemura

夏至と冬至という、一年で最も「日」が長く(短く)なる日に、キャンドルの「灯」をともす。そういえばクリスマスも元は「冬至祭」だ。化石燃料や原子力の「火の文明」を闇のなかで再考するもよし、都市の過剰な明るさで見えにくくなった「心の灯」を見つめるもよし。日本語ではひとの魂(霊)も「ヒ」と呼んだ。それが男に産まれれば「ヒコ」、女なら「ヒメ」、合わせて「ヒト」。「おむすび」「結び」の「ムス・ヒ」とは、この「ヒ(霊)」の力をギュッと圧縮して増幅する営み。キャンドルナイトは、こうした人類的な記憶の現代的な再生かもしれない。



キャンドルナイト呼びかけ人  
京都造形芸術大学教授・  
Earth Literacy Program代表  
竹村真一さん

### Idea 理念

「電気を消して、  
スローな夜を。」  
気づきのきっかけに。

決まっているのは、夏至と冬至の夜2時間の間、電気を消してキャンドルの灯りのもとで過ごす、ということだけ。電気を消すので、省エネに間違いはありませんが、より多様なテーマを含むものです。誰と過ごすか、何を語るか、何をするかは参加者の自由。日ごろはなかなかできないような、じっくりと物事を考えたり、語り合ったり、感じあったりするにはぴったりの時間です。いつもよりもゆっくり流れるときを感じながら、思い思いに過ごしましょう。100万人のキャンドルナイトは、まさに自発性と多様性のムーブメント。違う場所で違うことをしながら同じ時間にキャンドルを灯す。そこに主義や主張、立場や国籍はなく、世界の人たちとつながっているという、ゆるやかな連帯感があります。



キャンドルの灯りのもとで一緒に本読み(写真上)。いつもとちょっと違う雰囲気のお風呂(写真左下)。東京タワーも電気を消して(写真右下)。

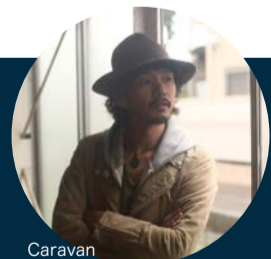


参加しよう!  
1

6月19日(日)に開催決定

「100万人のキャンドルナイト@増上寺」

毎年恒例となった増上寺でのイベントを今年も開催します。イベント中には、隣接する東京タワーがカウントダウンとともに消灯。日常から離れて、少しだけ立ち止まるひとときをお楽しみください。



Caravan

#### キャンドルナイト ステージ

毎年、たくさんの方が心待ちにしているライブは、今年もJ-WAVEプロデュースで。優先エリアについては、大地を守る会のホームページをご覧ください。出演アーティスト: Caravan、浜崎貴司ほか

#### アカリトライブ ステージ

ラッパー・GAKU-MCさんのキャンドルと音楽のイベント「akali to live(アカリトライブ)」が増上寺にやってきます。出演アーティスト: GAKU-MCほか

#### オーガニック マルシェ

大地を守る会の生産者によるオーガニックマルシェは今年で3回目。100万人のキャンドルナイトに賛同した企業やNPOによるブースも並びます。オープン時間: 11時~20時45分

#### オーガニック フードフォレスト

大地を守る会の生産者の食材を使ったメニューがずらり。夏野菜カレーやクラフトビールなどのメニューが並ぶ予定です。オープン時間: 11時~20時45分

#### もったいない 手作り市

作り手の思いが詰まった作品に出合える手づくり市。作り手の皆さんとの会話を楽しみながら、お気に入りを探してみよう。オープン時間: 11時~16時

日時: 2016年6月19日(日)  
11:00-21:00  
会場: 大本山増上寺  
(東京都港区芝公園4-7-35)  
アクセス: 都営地下鉄三田線「御成門駅」または「芝公園駅」より徒歩3分  
※入場料無料。  
来場者多数の場合、入場制限あり。  
※雨天決行。  
共催: J-WAVE81.3FM 後援: 外務省、港区

詳細や最新情報は公式ホームページ(<http://candle-night.tokyo>)をご覧ください!



2014年キャンドルナイトステージにご出演いただいた一青窈さん(写真右)。2015年キャンドルナイトステージにご出演いただいた藤巻亮太さん(写真上)



@Zouji  
増上寺

## みんなが集い、歌い、食べる 「100万人の キャンドルナイト@増上寺」。

大地を守る会は、初年度からイベント「100万人のキャンドルナイト@増上寺」を開催しています。増上寺の大殿ではライブを開催。記念すべき第1回のゲストである忌野清志郎さんをはじめ、何人もゲストが、記憶に強く刻まれるステージを繰り広げてきました。イベント中の20時少し前には、来場者みんなでカウントダウンを行い、増上寺の背後にそびえる東京タワーを消灯。より一層、幻想的な雰囲気になり、ゲストの歌や詩の朗読を聞いて過ごします。境内には、大地を守る会の生産者の食材が集まるマルシェやフードコーナーを開設して、こちらにもぎわいを見せます。また、東北の食材を販売するブースの出展や被災した生産者のトークイベントを行うなど、東日本大震災の復興支援にも力を入れてきました。



東京タワーを消灯して、キャンドルを灯して(写真上)。フードコーナーでごはんを楽しめます(写真左上)。キャンドルがずらり(写真右上)。マルシェでは大地を守る会の生産者も出店(写真左下)。2011年には東日本大震災の応援メッセージコーナーを設置(写真右下)。



参加しよう!  
2

### 3つのアクションで より参加しやすく つながりを感じられるものに。

Twitter Japan株式会社の賛同を得て、100万人のキャンドルナイトの準備段階から情報を発信していきます。増上寺でのイベント当日には、参加する一人ひとりが時間を共有できるようハッシュタグでサポート。また、当日の様子のレポートを通じて、離れていても臨場感と連帯感を楽しめる企画を予定しています。



#### 1 Twitterで事前・当日情報を 随時配信

100万人のキャンドルナイト・オフィシャル・ツイッターアカウントにて、増上寺でのイベント情報などを随時配信します。当日の様子もレポートします。

#### 2 ハッシュタグをつけて 「マイキャンドルナイト」を つぶやこう

あなたはキャンドルナイトをどんなふうにご覧ですか？ あなたのキャンドルナイトの様子がわかる写真を添付し、ハッシュタグを付けてつぶやいてみましょう。キャンドルナイトの輪がTwitter上でも広がります。

🐦 #100万人のキャンドルナイト

#### 3 periscope(ペリスコープ)で 増上寺でのイベントをレポート

スマートフォンで動画中継できるアプリperiscopeで、増上寺でのイベントの様子をレポートします。「増上寺に行けないけれど、東京タワーのライトダウンが見たい」。そんな人でも大丈夫。periscopeを通じて一緒にキャンドルナイトを過ごしましょう。

### 楽しむ人が増えるほど キャンドルナイトは 広がります。

増上寺でのイベントの他にも、さまざまな企画を通じて広がりを見せている100万人のキャンドルナイト。電気を消している間の様子を記録した写真やエッセイのコンテストも人気です。2010年に呼びかけたのは、「食べ物」をテーマにして過ごしてみようということ。食べ物を育む大地や丹精込めて栽培した生産者に思いを馳せて、感謝の気持ちを胸に過ごすことで、より食べ物の本質を見つめる機会になりました。ニュースレターを作成して世界各国へ送るなど、世界の人々にも呼びかけました。



『NEWS 大地を守る』2010年6月号巻頭特集「ろうそくのひのもとであなたはなにをたべますか？」(写真上)。食べものの向こう側が見えるかも(写真中)。2006年フォトコンテスト最優秀作品賞(写真下)。

Event  
イベント

Message from Daichi wo Mamorukai

#### 「いつでも、どこでも、誰でも」 参加できる14年目の 100万人のキャンドルナイトへ

今年はより多くの皆さんに、「参加することのおもしろさ」を知ってもらい、実際の「行動」につなげていければと思います。キャンドルナイトのスタート当初には浸透していなかったスマートフォンですが、今ではあらゆる世代が利用しています。この環境の変化に合わせて、Twitter Japan株式会社の協力を得て3つのアクション(左記「参加しよう2」参照)を呼びかけます。リアルタイムで100万人のそれぞれの過ごし方を共有し、つながっていきけるようになると、より楽しみが広がるはず。また、東日本大震災以降、@増上寺で続けてきた被災地支援ですが、今年は熊本地震への応援も展開します。皆さんとともに、首都圏から食べて飲んで買い支えて応援していきましょう。

大地を守る会

2016/  
New  
Project  
新企画

### 2016年6月19日(日) SNSを活用して より多くの人に参加を 呼びかける。

「もっとたくさんの人に気軽に参加してほしい」。そんな思いから、今年は新たにSNSを活用して100万人のキャンドルナイトへの参加を幅広く呼びかけます。日本各地で、世界各国で自分と同じように電気を消してキャンドルを灯している人の存在を思い描いてみましょう。スローな時間を楽しみながら想像力の翼が広がる時、世界は少しずつ変わっていくはず。スローな時間を楽しみながら想像力の翼が広がる時、世界は少しずつ変わっていくはずです。

大地を守る会の生産者が、ある一日のできごとや想いを綴ります。

# 作り手日記

8ページ目

最終回



おのでらこういち  
小野寺孝一さん(写真中央)  
(茨城県八千代町)

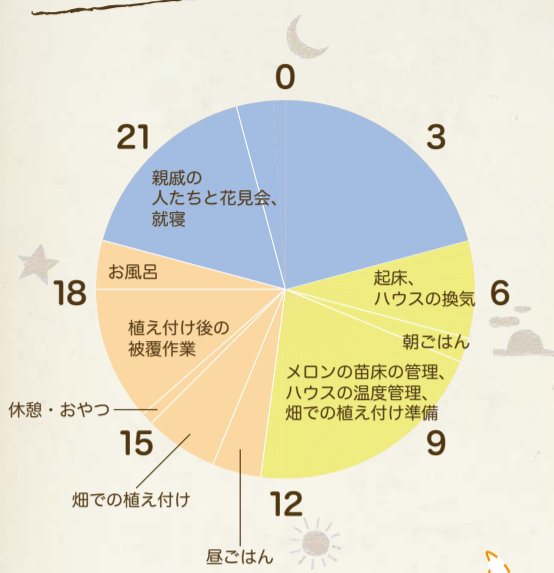
「小野寺さんのメロン」でおなじみの生産者。メロンのほかに、白菜やねぎなどの野菜も栽培しています。「大地宅配オーガニックフェスタ」にもいつも、おつれあいのきよ子さんに参加するおしどり夫婦です。



a ご近所さんからいただいた卵。卵かけごはんいただきます。  
b メロンの苗の定植風景。一つずついてねいに。  
c 猫のクロは、お昼によくたかりに来ます。



4月9日(土)



冬野菜の出荷が終わる頃。ちょっとゆっくりしたいのですが、育苗ハウスに行くと、大きくなったメロンの苗が「早く広い畑に出たい」と話しかけているようで、定植の準備で忙しい日々です。

## 皆さんの支えで誇りと自信、責任を持って農業をしています

朝ごはんは、お隣さんが飼っている名古屋コーチン(名前はコウちゃん)の卵で卵かけごはん。桜の花が咲いたとはいえ、メロンの苗にはまだまだ寒い時期なので、午前中は苗の寒さ対策をします。朝・晩に寒くならないように、苗をビニールなどで覆います。また、初秋から出荷するねぎの植え付けも準備。まずは畑のまわりの草取りをし、草対策のマルチというシートで覆います。マルチがあるおかげで草取りの手間がだいぶはぶけますが、15~18cm間隔の穴あけ作業が大変です。最近気になることは、今とこれからの天候。長年この生活をしていると、時節の気候がどうなっていくのかが分かるのですが、今は天候不順でさっぱりわからず、種まきの時期などを決めるのに悩みます。

目まぐるしく忙しい中でも、どのような人が食べてくれているのかと思いを巡らすと、生産者として楽しくうれしいです。種まきから出荷までに込める想いが一層強くなります。消費者の皆さんの支えで、楽しく農業をし、誇りと自信、責任を持ってその仕事をやらせていただいています。食べることは生きる基本です。

## 『NEWS大地を守る』が、秋からリニューアルします!

『NEWS大地を守る』をいつもご愛読いただきありがとうございます。2016年9月から、『NEWS大地を守る』がリニューアルします。『イベント大地を守る』と合体し、「おいしい」のその先にある食にまつわる情報やイベント情報などを、毎月皆さんのもとにお届けします。

普段食べている食べ物のこと、作り手のこと、自然のこと、社会とのつながりのこと。知ると、もっとおいしくなり、もっと暮らしも未来もよくなるはずですよ。

リニューアルに伴い8月号は「夏休み」をいただき、新しく生まれ変わる『NEWS大地を守る』(タイトル変更予定)は9月号から毎月お届け予定です。どうぞお楽しみに。



**【WEBアンケート実施中】**  
『NEWS大地を守る』へのご意見をぜひお聞かせください。今後の制作に生かしてまいります。  
※紙をご希望の方は、大地を守る会CSR推進部までご連絡ください。

## オーガニック Organic を伝える女性たち 最終回 vol.04

### キッチンから第一次産業を支える仲間を増やしていきたい

「オーガニック料理ソムリエ」という資格認定を行う協会の代表、はりまや佳子さん。ご家族が現代の医学では治せない病気になったことがきっかけでマクロビオティックと出会い、ご友人のすすめで有機野菜が豊富な大地宅配を始めたそうです。旬のオーガニック食材を使い心も身体も元気になれる料理を提供している「キレイ料理レストランG-veggie」では、資格取得のための講座も開催し、大地宅配の野菜も使用しています。講座や料理教室に参加している皆さんに、オーガニック食材の力を料理に活かすさまざまな知識を伝え、キッチンから第一次産業を支える仲間を増やしていきたいと、日々活発に活動されています。



一般社団法人  
日本オーガニック  
ライフ協会代表理事  
マクロビオティック・  
キレイ料理教室  
G-veggie代表  
はりまや佳子さん

アメリカのクシ・インスティテュートでインストラクターの資格を取得後、2006年大田区蒲田の自宅でマクロビオティック・キレイ料理教室G-veggieを開校。卒業生はすでに1,500名を超える。著書に『美人になるグリーン・ベジックッキング』(主婦と生活社刊)がある。

### information

銀座と蒲田にて「キレイ料理教室G-veggie」を運営。オーガニック農作物を使い、健やかな体と心を作る料理を学ぶ「オーガニック料理ソムリエ資格講座」も開催しています。  
<http://g-veggie.com>

## 報告 ささエールうなぎ基金

### 資源保護と回復を目指して

大地を守る会では、食べることをやめるのではなく、日本の食文化を守りながら資源保護・回復を目指し、「支えて応援(エール)」という気持ちを込めた「ささエールうなぎ基金」を実施しています。

対象のうなぎ商品に25~50円を上乗せし、基金として積み立てます。集まった資金は、うなぎの資源保護・回復の活動に充てます。対象のうなぎ商品のご注文のほかに、基金だけ(50円)を注文することで、も応援いただけます。

産地の一つ、鹿児島県薩摩川内地区は、豊かな湧水に恵まれた日本屈指の養鰻産地。抗生物質などの薬剤を使わず、清らかな水としっかりとした衛

生管理による養殖池で健康に育てられたうなぎが、私たちの食卓に届けられています。

おかげさまで、多くの皆さんに「ささエールうなぎ基金」を応援いただいています。誠にありがとうございます。

集まった資金は今夏、うなぎとうなぎのえさとなるエビやカニが棲みつくことのできる石倉かご2~4つの設置、うなぎの幼魚約200~400尾の放流に充てる予定です。

今後とも応援よろしくお願いたします。



石倉かごの設置風景

# GLOBAL REPORTS



## タイ北部山岳地帯の森で育ちました ラフ族の人たちが完熟豆だけを手摘みした 愛情たっぷりのコーヒーをお届けします！

大地を守る会は1990年に国際局を開設して以来、環境に配慮した取り組みを行う海外の個人農家や団体と交流を重ねてきました。今回、その交流がさらに発展し、タイ北部の少数民族ラフ族の人たちが栽培したコーヒーを取り扱うことになりました。ていねいに育てられた貴重な味わいをぜひお試しください。

出荷前の豆の選別。不良豆と枝や葉など異物の除去が、豆の品質を左右します。日本で焙煎する前にも、さらに選別を行っています。

ダイエーさん。「この森を1000年守りなさい」という父の遺言を守っています。種から苗木になるまではダイエーさんが育てています。



収穫はすべて手摘み。11月から2月が収穫シーズンです。

### 大地を守る会の海外交流

1990年代からタイは、経済発展に伴い農村部から都市部に人が集中し、農村部は子どもとお年寄りが守るという、日本と同じ道を歩んできました。そこで、大地を守る会の生産者たちとタイ東北部の村を訪問。どうしたら村の生活と文化を守り、出稼ぎをせずに経済的に自立できるのかについて、日本とタイの農民が意見交換を重ねてきました。その際に通訳としてお世話になったのが、タイ北部の山岳地帯に住む少数民族ラフ族のリーダー、ダイエー・セイリさんです。その後、ラフ族を訪ねる海外ツアーも催行しながら交流を深めてきました。

### ラフ族の歴史

ラフ族はもともと中国の雲南省に住む少数民族です。第二次世界大戦後の中国で内戦が起こり、ラフ族は蒋介石の国民党軍と共に戦ったため、毛沢東の共産党軍が勝利すると立場が不利になりました。社会主義化される中でラフ族は自立の道を探るため、1950年代後半にリーダーのヤバ・ローチョさんを中心に数千人規模で中国を脱出し、ラオス、ミャンマーに村々を作りながらタイの山岳地帯にたどり着きました。コーヒーの産地であるローチョ村は、リーダーの名前にちなんだ村の名前です。ローチョさんの息子であるダイエーさんは父の遺志を継ぎ、ラフ族自立のために人生をかけてきました。今回のコーヒー栽培もその一つです。

コーヒーの実は赤く熟してから収穫しています。



### タイのコーヒー文化

20年ほど前、タイでコーヒーと言えばインスタントコーヒーでしたが、現在では農村部でも本格的なコーヒーが飲めるようになりました。それは経済発展とともに、国を挙げてのコーヒープロジェクトの影響だと思われます。タイ北部はラオスやミャンマーと国境を接していますが、かつてそこはゴールドトライアングル(黄金の三角地帯)と言われ、アヘンを中心とした麻薬の産地でした。また、ラフ族だけでなく多くの少数民族が山岳地帯で焼畑農業を行ってきたため、森林が破壊されてきました。そこでタイ政府は、王室プロジェクトとして麻薬の栽培と焼き畑農業を禁止し、換金作物として果物やコーヒーの栽培を奨励してきました。その栽培方法は有機栽培から農薬を使用する慣行栽培のものまでさまざまようです。

### 森を守るコーヒーの味

ローチョ村のコーヒーは、RTF (Return to the Forest: 森に帰ろう) というプロジェクトの一環で栽培されています。標高1200メートル前後、寒暖差が20°C以上ある森で育ったコーヒーは、カカオのような甘さと熟度の高い酸味で奥行きのあるフレーバーが特徴です。有機認証はとっていませんが、野鳥の糞から作られた堆肥に牛糞を混ぜる土作りなど、農薬や化学肥料を使わない有機的な方法で栽培されています。約100軒の農家が5万本のコーヒーの木を育てています。最初の1本を植えてから15年、味も落ち着いてきました。

品種はアラビカ種で、種はチェンマイ大学で生産されたものを使用しています。焙煎は大地を守る会でも定評がある「ウィンドファーム」。朝の一杯のコーヒーが、ラフ族の暮らしと森を守る活動につながります。ぜひご賞味ください。

### このコーヒーは以下の点に貢献しています。

- 森と水源を守る
- 少数民族の仕事を増やし自立促進する
- 麻薬の撲滅
- 有機的農業の普及

### コーヒーを買って応援

1009 (粉)

1010 (豆)

タイ北部ラフ族の  
森を守る～  
ローチョ村のコーヒー

200g

1,500円(税込1,620円)



注文書No.126 (6月13日～17日ご提出)でご注文いただけます。商品の詳細は、同時配布の「ツチオーネ」126号6ページをご覧ください。

# これまでも、これからも ソーシャルビジネスとして。

大地を守る会は、社会的課題をビジネスで解決していくソーシャルビジネス(社会的企業)として、幅広い活動を行っています。毎年6月には「大地を守る会社会貢献活動(CSR)をすすめる会総会を開催して一年を振り返り、今後の活動について意見交換を行っています。今回は、活動報告書の抜粋版として、2015年度の活動をご報告します。



PICK UP  
1

## 水産資源と水産業を守る 「大地を守る会のもったいナイ魚」

### 規格外魚やなじみのない未利用魚を商品化

「サイズが規格外」「傷がある」「マイナーな魚」。味に問題がないにもかかわらず、このような理由で流通していない魚はたくさんあります。一方で消費者からは、「不ぞろいな形や傷があるものでも気にしない」という声も。また、生産の現場へ目を向けると、船に使用する燃料代の高騰や厳しい価格競争の中、窮地に立たされている漁師や水産加工業者の姿があります。

このような現状を受けて始まった商品シリーズが、「大地を守る会」

### もったいナイ魚は、どんな魚?

もったいナイ魚(以下、もったいナイ魚)です。規格外魚やなじみのない未利用魚を商品化することで、獲れた魚を無駄にせず、少し安くおいしいものを消費者へ届けます。また商品は、すべて地域の加工業者をお願いして鮮度を重視したものばかり。もったいナイ魚は、国内の加工業者を助けることにもつながっています。

規格外の魚には、さまざまな種類があります。低価格で扱われている小型のマダラのほか、身が欠けるなどしたカキ、加工段階で捨てられること多いイカの耳やゲソ、マグロの尾肉などを商品化しています。

マイナーな魚の一つであるロウニンアジは、もともと熱帯・亜熱帯地域に生息していますが、温暖化の影響から九州でも水揚げされるようになってきます。珍しい魚であることから対応できる加工場が限られ、定期的な水揚げがないため固定の売り先がありませんでした。もったいナイ魚では水産メーカーと協力しながら、小型のロウニンアジを薄塩の切り身にしています。

また、ロウニンアジ同様、シイラも日本ではなじみの少ない魚です。これまですり身の原料用などで低価格

でしか取引されず、シイラだけがたぐさん獲れる時期には、漁へ出ても燃料代さえ賄えない状況がありました。ところが、鹿児島などでは刺身で食されるほど、味わいは上品な魚です。そこで、鮮度劣化が早いシイラを加工段階で氷と塩水に漬けることで鮮度を保ち、おいしく食べられるよう工夫しました。

このように商品開発を進めていき、これまでももったいナイ魚は70品以上を数えるまでになりました。「生産者の応援」「環境保護」などのコンセプトを伝えることで、想いに共感して購入する消費者が多いことも特徴の一つです。そのため、従来からある正規品の需要を減らすことなく、新たな需要として伸ばしています。

### 「もったいナイ魚ランチ」が多数のメディアで紹介

もったいナイ魚は、自然環境・消費者・生産者の三者ともにつれしい仕組みであることが評価され、フード・アクション・ニッポンアワード2014の「販売促進・消費促進部門 優秀賞」を受賞しました。同年11月からは、青果物や加工食品も対象にして「大地宅配のもったいナイシリーズ」として販売を開始。規格外や傷ありのもの、数量調整のために多めに発注した青果物や加工食品を1〜5



もったいナイ魚ディナーメニューのひとつ、白イカとキャベツのアンチョビパスタ

割安くして販売しています。

また、もったいナイ魚の認知をさらに広めようと、Daichi & Travel cafeで、「もったいナイ魚ランチ」を期間限定で提供しました。限りある水産資源を有効活用しながら、週替わりで異なる魚の味を楽しむものです。もったいナイ魚ランチは、新聞やテレビ、インターネットなど、さまざまなメディアで取り上げられ大きな反響がありました。

魚や農産物は工業製品とは異なり、形状が同じものは一つとしてありません。また、産地には、まだもったいナイ商品があります。日本発の世界共通語でもある「もったいナイ」を合言葉に、日本の第一次産業を支える「大地宅配のもったいナイシリーズ」をこれからも展開していきます。



10箱に1箱の割合で「もったいナイ魚」が生まれます。

**「大地を守る会社会貢献活動(CSR)をすすめる会」総会にぜひお越しください**

本総会は会員の皆さん、生産者とともに、大地を守る会のCSR活動の報告・協議を行います。1年間のCSR活動を振り返り、これからの活動について意見交換をしましょう。

■日時  
2016年6月11日(土)  
12:30-16:30(受付開始12:00)

■会場  
戸山サンライズ・大研修室(新宿戸山1-22-1)  
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

■アクセス  
東京メトロ東西線早稲田駅3b出口、都営地下鉄大江戸線若松河田より徒歩10分  
※地図は戸山サンライズのホームページ(<http://www.normanet.ne.jp/~ww100006/tizu.htm>)をご覧ください。

■参加費  
無料  
※申し込みは不要ですので、直接会場へお越しください。  
※大地宅配定期会員の方であればどなたでも参加できます。

■お問合せ  
株式会社大地を守る会「大地を守る会社会貢献活動(CSR)をすすめる会」事務局  
TEL:043-380-7760  
FAX:043-213-5513  
EMAIL:csr@member.daichi.or.jp

# 2015 活動報告

## 国際局

### ネパール大地震の被災者支援



家屋が倒壊し、テント生活を送る被災者たち

15年4月25日に発生したネパールの大地震は多くの被災者を出しました。DAF DAF基金から4月30日に緊急支援金として20万円ずつ、ネパールの関連団体であるNPO法人ラブ・グリーン・ジャパン、NPO法人シャプランニル、有限会社ネパリ・バザールへ送金しました。また長期支援金として『NEWS大地を守る』15年8月号と9月の別チラシで支援を募りましたところ、96万9000円が集まり、16年1月に右記3団体に再度送金しました。

## 交流局

### 「チョコレートナイト」の開催

11月28日・1月23日、Daichi & Travel cafe(千代田区)にて、チョコレート・アラリアンズと共同で開催。合計参加者数69名。ガーナ、エクアドル、ボリビア、インドネシアという4産地のフェアトレード・チョコレートを使ったコース料理を味わいながら、チョコレートやフェアトレードについて学びました。



カカオニブとナッツ入りミルクチョコレートをあしらったサラダ

### 「夏の三浦・とうもろこし収穫祭」の開催



うまく収穫できたかな？

7月26日、黒崎有機栽培研究会の畑(神奈川県三浦市)にて開催。参加者数341名。お子さんから大人まで、農業に頼らずに栽培されたとうもろこしを収穫しました。生産者とおしゃべりをしながら、もぎたての生のとうもろこしやゆでたてのとうもろこしも味わいました。

### 「室内のハウスダスト(ダニ・カビ)対策」の開催

10月20日、エコとしま・豊島区生活産業プラザ(豊島区)にて開催。参加者数55名。東京アレルギー・呼吸器疾患研究所・白井秀治さんに、アレルギーの原因となるダニやカビをはじめとしたハウスダスト、その対策についてお話いただきました。

## 会員活動と会員活動連絡会

### 「わたしだけの『しろたまり』を作ろう!」の開催

5月22日、川崎市高津市民館(神奈川県川崎市)にて、サークル「港北だいちサークル」が開催。参加者数31名。日東醸造の蜷川洋一さんをお招きし、白しようゆ「しろたまり」を手作りしました。

### 「井上さんのベジタ使い切り講座」の開催

10月10日、江東区総合区民センター(江東区)にて、サークル「割烹着の会」が開催。参加者数22名。「ベジタ」をその場で開け、ある野菜を組み合わせて作る野菜料理と、簡単コーストビーフを、料理家・井上喜子さんが伝授。4~5人のグループに分かれて皆で調理しました。

## 大地を守る東京集会

### 2日間にわたり開催

2月27日だいち交流会、2月28日大地宅配オーガニックフェスタの2日間にわたり開催。だいち交流会は、会員サークルや消費者有志、社員を中心に、消費者の手料理を囲み生産者と語り合う会、大地の商品を見てふれて味わう会、次世代の生産者・消費者・流通者のつながりを考える会など、各会場特色のあるテーマを掲げて4カ所で開催しました。大地宅配オーガニックフェスタは、「明日の暮らしが見つかる日」というテーマのもと、マルシェやトークステージ、ワークショップなど企画が盛りだくさんでした。

## 生産者ブロック会議

### 「天敵利用の生産者会議」の開催

5月28日、茨城県小美里市にて開催。参加者数35名。講師に中央農業総合研究センターの長坂幸吉さんをお招きした講演後、ユニオンファーム(茨城県小美里市)の圃場を見学しました。



アブラムシが発生する前に、天敵を導入し待ち伏せする方法が効果的と説明

## 運動局

### 「100万人のキャンドルナイト」の取り組み

02年に大地を守る会独自で実施し

たキャンドルナイト・プロジェクトからスタートし、03年には他団体と連携して「100万人のキャンドルナイト」として呼びかけを開始し、大きな広がりを生み出してきました。13年目を迎えた15年度は、6月21日、増上寺(港区)にて、「100万人のキャンドルナイト@増上寺2015」(港区)をFMラジオ局J-WAVEと共催しました。ステージには田島貴男さんや藤巻亮太さんなどが出演し、たくさんの来場者とともに平和や環境についてゆっくり静かに思いを巡らせました。

### 「遺伝子組み換え食問題への取り組み」

映画「遺伝子組み換えルーレット」の上映会などを通して、遺伝子組み換え作物の弊害や未知の危険性を訴えました。また、大豆の種まきから味噌作りまでを連続して行う農作業体験で、大豆を通してさまざまな問題(遺伝子組み換えの問題、国内自給の問題など)に関心を持ってもらう取り組みを行いました。

## 専門委員会

### 「映画『日本と原発』自主上映会とトーク」を開催

11月23日、セシオン杉並(杉並区)にて、専門委員会「原発とめよう会」が開催。参加者人数59名。映画『日本と原発』の上映後、映画の構成・監修の海渡雄一さんをお招きし、制作秘話や原発の再稼働が続く今日の状況についてお話を聞きました。

### 「大和川酒造交流会〜新酒完成を祝つ会〜」の開催

2月13日・14日、大和川酒造店(福島県喜多方市)にて、専門委員会「米

プロジェクト21」が開催。参加者数17名。新酒の搾りを見学した後、原料米生産者・稲田稲作研究会の皆さんも交え、新酒「種時人」とともに地元・会津づくしの食材を囲んで交流会が行われました。また、会津電力株式会社の取り組みを学びました。

### 「ダンボールコンポストへの取り組み」

専門委員会「大地を守るエコ研究所」は、家庭で出る生ごみのリサイクル運動として、生ごみをダンボールでたい肥化する「ダンボールコンポスト」へ取り組みました。9月5日に「ダンボールコンポスト入門講座」、11月7日に「ダンボールコンポスト・アフターフォロー講座」などを開催しました。

### 「森と海がつながる、牡蠣物語」の開催

6月7日、Daichi & Tra

ve cafe(千代田区)にて、専門委員会「おさかな倶楽部」が開催。参加者数43名。厚岸町緑水会の神聖悟さん、中嶋均さんをお招きし、厚岸町緑水会が行っている植林活動や森と海の間がらについてのお話を聞きながら、北海道厚岸産力キを使った料理をいただきました。

### 「秦野の森にコナラを植えよう」を開催

5月23日、神奈川県秦野市の秦野の森にて、専門委員会「森と木の住まいづくりフォーラム」が開催。イベント「山上げツアー」でつながりのある岩手県野田村でコナラの苗約2000本の引き取り手がなくなり焼却されるとの相談を受け、秦野市森林組合のスタッフの方と現地を訪問。引き取ったコナラの苗を秦野の山に定植しました。

## PICK UP 2 福島県の子どもたちが心と体を開放できる居場所を震災復興支援「つながる福島子どもツアー」



福島県の子どもたちを大地を守る会の生産者の産地などに招待し、自然の中でゆったり過ごすことで、心と体を開放できる場所と時間を届けるツアーです。3年目の今年は、8月8日〜12日に、NPO法人アースマンシップと協働して、佃煮でおなじみの生産者・遠忠食品の宮島一晃さんのご協力のもと、神奈川県三浦市油壺で開催しました。今回参加した子どもたちは小学3年生から中学3年生までの22名。ヨットハーバーでヨットの乗船体験、海水浴場で泳いだりシノーケリングをしたりするなど、みんなでおおはしゃぎ。大地を守る会の野菜やお肉を使ったバーベキューも、おなかいっぱいになるまで楽しみました。

# だい ち まも 大地を守る日どもニュース

だいぶくと一緒にいろいろ発見しよう!



## 今月のたべもの [梅]

旬の食べ物の質問に答えるよ。食べたことはあるかな?

なぜ梅の実は今で食べられないの?



梅の実、はじめは緑色で、熟すと黄色くなります。「青梅」と呼ばれる緑色の梅の実や種には、人間が食べると、おなか痛くなったり気持ち悪くなったりする物質が含まれています。熟していくにつれてその物質は分解され、害が少なくなります。また、梅干しなどにすると分解されるので、私たちがおいしく食べられるのです。「三毒を絶ち、朝夕1つ食べれば医者いらす」といわれる梅は、昔から体によいものとされてきました。梅干しは、昔の人たちが生み出した、すぐれた食べ物です。



梅の旬は6月頃で、ちょうど今。大地を守る会の生産者もせっせと収穫しています。梅干しや梅ジャム、梅シロップなど、ぜひつくってみてくださいね。

梅干しや梅ジャムなど、梅を使った食べ物を作ることを、「梅仕事」といいます。

## 梅干しをつくる人

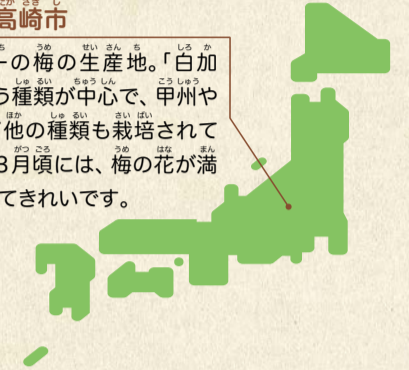
大地を守る会の生産者からメッセージが届いたよ!



ゆあさ農園 湯浅直樹さん

生産地 群馬県高崎市

東日本一の梅の生産地。「白加賀」という種類が中心で、甲州や南高など他の種類も栽培されています。3月頃には、梅の花が満開になってきれいです。



## 食べ物もエネルギーも作っています

私の農園は、江戸時代から約200年続く農家で、梅作りは大正時代から約100年続けています。農薬や化学肥料をできるだけ使わずに育てた梅と塩のみで、梅干しを作っています。最近では、太陽光発電や、梅の枝を燃料にしたボイラーを設置しました。それでお湯をわかしたり家を暖めたりと、エコなエネルギーも作っています。



事務所の屋根にも、太陽光パネルがあります。

## 大地を守るコトバ

第一次産業(日本では、農業・林業・漁業のこと)に関するコトバを解説するよ!

## 塩梅

梅の原産地は中国です。日本では平安時代頃から梅干しが作られ始め、江戸時代頃から一般の家庭でも食べられるようになったようです。昔は、「梅酢」という梅干しを作る時に出る汁が調味料として料理に使われていました。「塩梅」とはもともと、料理の味加減を指す言葉。今では、料理のことだけでなく、健康状態のことなどでも、ちょうどいいことを「いい塩梅」と言います。昔の人たちの知恵「梅干し」を食べて、身体を「いい塩梅」にして過ごしましょう。

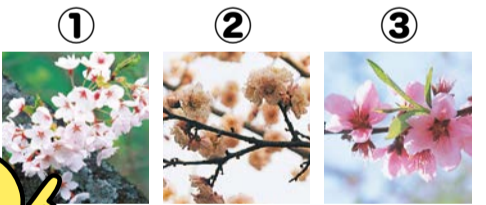


梅から、食べ物だけでなく、言葉や文化も作られているのですね。

## クイズ

できるかな? 大地を守る会のクイズに挑戦してみよう!

次のうち梅の花はどれでしょう?



答えはこのページの一番下にあるよ。

## 交流いろは

たくさんのお便り、イベントへの参加、ありがとうございました!

作っただまき卵の写真を送ってくれた左・渡邊咲心さん(当時小学3年生)。育てたメロンの写真を送ってくれた右・内田琉くん(当時小学5年生)。



これからもイベントに遊びに来てね。

## 『大地を守るこどもニュース』最終回です

『大地を守るこどもニュース』を読んでくれてありがとうございます。今回で『大地を守るこどもニュース』は最終回です。私たちがいつも食べている食べ物のことやそれを作っている人のこと、みんなからのお手紙・写真をたくさん紹介してきました。楽しかったかな? 食べ物からは、おもしろいことがたくさん見えます。これからも、いろいろ発見していきましょう。イベントなどで、また一緒に遊ぼうね!



# No. 06 大切なひとを亡くしたときのグリーフサポートと賢い保険の使い方

終活セミナー・2016年第3回Vol.9

大切なひととの別れ。必ずやってくるその時に、ここはどのように変化していくのでしょうか？ 看取る場で棺を抱きながら大声で泣く方、喪主として毅然として挨拶など対応している方……。悲しみの抱え方と表現はさまざまですが、ストレスを抱えやすいのはどちらでしょうか。見えないこころの動きと対処方法(グリーフサポート)についてお話しします。また、人生の終わりに、家族ともめない相続の具体策として、生命保険料控除や葬儀費用の非課税枠など、上手な保険の生かし方について、専門家のお話を伺います。



2016.7.5(火) 10:00-12:30

●会場…大地を守る会 六本木事務所 3階会議室(港区六本木) ※東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」3番出口より徒歩5分 ※エレベーターはありません。●駐車場…なし ●講師…提携葬儀社、提携生命保険会社 ●参加費…無料 ●定員…30名 ●受付締切…6月24日(金) ●お問合せ…CSR推進部(担当:生活文化チーム・阿部)



わかりやすくいけないにお話しします

# No. 07 おうちの素材とお値段と

家づくりの入門講座ー建てる前に知っておきたいこと

大地宅配定期会員限定

新築・建て替えを検討中の方、将来のためにヒントをお探しの方に向け、以下のようなことをお話しします。○家の構造・工法 ○新建材と自然素材 ○素材の燃焼実験 ○簡易調湿実験 ○素材に触れてみよう どうぞご参加ください。 ※においや化学物質に敏感な方は事前にご相談ください。

2016.6.28(火) 10:00-12:00

●会場…大地を守る会 六本木事務所 3階会議室(港区六本木)※東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」3番出口より徒歩5分 ※エレベーターはありません。●駐車場…なし ●講師…自然住宅チーム 新井伸宏(自然住宅の設計経験をもつ一級建築士) ●参加費…無料 ●定員…20名 ●受付締切…6月10日(金) ●お問合せ…自然住宅チームTEL:03-6863-2900 Email:shizenjyutaku@daichi.or.jp

# 『さとにきたらええやん』

6月11日(土)よりポレポレ東中野ほか、全国順次ロードショー

いつでもおいでや。子どもも大人も集まるみんなの“さと”

大阪市西成区釜ヶ崎で38年にわたり取り組みを続ける「こどもの里」。障がいの有無や国籍の違いなどに関わらず、誰でも無料で利用することができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、さまざまな事情から親元を離れている子……そして親や大人たちも休息できる場所として、それぞれの家庭の事情に寄り添い、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。本作では、時に悩み、立ち止りながらも全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着し、子どもも大人も抱える「しんどさ」と、関わり向き合いながらともに立ち向かう姿を追いました。



監督・撮影:重江良樹/音楽:SHINGO★西成/プロデューサー・構成:大澤一生/編集:辻井潔/特別協力:小谷忠典/助成:文化庁文化芸術振興費補助金/企画:ガーラフィルム/宣伝・配給協力:ウッキープロダクション/製作・配給:ノンデライコ/2015年/日本/100分/カラー/©ガーラフィルム・ノンデライコ●ポレポレ東中野(Tel:03-3371-0088)

©ガーラフィルム・ノンデライコ

# No. 08 オーガニックパーティー

<1日1組限定>食材[5,000円分]を無料で試食!

大地宅配定期会員限定

毎月 月曜日～金曜日 10:00-15:00の間で1～2時間

オーガニック食材にご関心があるお友だちを誘って、大地宅配の食材で「オーガニックパーティー」をしませんか? あなたのおすすめの食材をお召し上がりいただきながら、一緒に大地宅配の輪を広げましょう♪



ご関心のあるお友だちとぜひ☆

●会場…お申込会員様、またはお友だちのご自宅 ●参加費…なし ●定員…会員様+会員でないお友だち2～3名様(2～3世帯) ●受付締切…ご希望日の10日前まで。第2希望まで日時をお知らせください。 ●お問合せ…大地宅配サポートセンター TEL:0120-158-183 Email:support@takuhai.daichi-m.co.jp ※当日、大地宅配のスタッフが伺いし、食材・宅配についてご紹介します。 ※お友だちは自社トラックでお伺いしているエリア内にお住まいの方限定です。 ※東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県(一部地域を除く)限定での開催となります。

# No. 09 マクロビオティック料理体験ランチ会

プロの料理家がオシャレな料理を持って伺い!

大地宅配定期会員限定

毎週木曜日

開始時刻12:00～13:00(1時間)

大地宅配の素材を生かした「マクロビオティック料理」を体験しませんか? 料理家、MAKIROBIの後藤麻希さんが作ったランチをご自宅までお持ちします。マクロビオティックが気になっていた方にオススメです!



MAKIROBI・後藤麻希

●会場…お申込会員様、またはお友だちのご自宅 ●参加費…1,000円 ●定員…会員様+会員でないお友だち2～3名 ●受付締切…ご希望日の2週間前まで。希望開催日時の第1希望、第2希望をお知らせください。 ●お問合せ…大地宅配サポートセンター TEL:0120-158-183 Email:support@takuhai.daichi-m.co.jp ※当日、大地宅配の食材・宅配サービスについてご案内します。 ※お友だちは自社トラックでお伺いしているエリア内にお住まいの方限定です。 ※地域によっては開催できない場合がございます。

キリトリ線

## 6月号 参加申し込み書

→ CSR推進部行

イベントNo	イベント名	交通手段(○をつけてください)
		車 電車(バス)
名前	会員番号	TEL ( )
参加人数	参加者全員の名前(お子さんは年齢・学年も)	
	名	
備考		

※複数のイベントにお申し込みの場合は、「別紙」や「連絡便」などに必要事項をご明記いただき、ご提出ください。

## イベントのお申し込み方法

「参加申し込み書」を切り取り、注文書ケースに入れてご提出いただく(締切日当日提出分まで)か、大地を守る会のホームページ「イベント情報」よりお申し込みください。

大地を守る会のホームページ「イベント情報」: <http://www.daichi-m.co.jp/event/>

【ご家族、お友だちもご参加いただけます】  
お申込みいただく大地宅配定期会員の方のご家族やお友だちもご参加いただけます。

【大地宅配定期会員について】  
「大地宅配定期会員限定」マークのあるイベントは、大地宅配の定期会員の方のみが対象です。大地宅配の定期会員については、詳しくは大地を守る会のホームページなどをご覧ください。

【詳細のご案内について】  
お申込みいただきましたイベントの詳細案内は(受付の不要な一部イベントを除き)、開催日の10日～1週間前くらいまでに郵送または電子メールにてお送りいたします。ご応募多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選の結果はご連絡いたします。

【お申し込み時の個人情報の取り扱い】  
お申し込みの際の個人情報は、イベントなどの実施のために利用いたします。ご同意の上、お申し込みください。個人情報に関する詳細は、大地を守る会のホームページ([http://www.daichi-m.co.jp/corporate/privacy\\_policy/](http://www.daichi-m.co.jp/corporate/privacy_policy/))をご覧ください。

【写真撮影について】  
イベントの様子は、写真で記録をとらせていただきます。撮影した写真は、大地を守る会のホームページやカタログ、グループ会社の広報媒体に掲載させていただく可能性があります。予めご了承ください。

イベント情報に関するお問合せはCSR推進部へ ☎ 043-380-7760 FAX 043-213-5513

発行元: 〒261-8554 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟21階 株式会社大地を守る会 CSR推進部

## No. 01 畑のお手伝いとスイカの食べ比べ

農作業で汗を流したあとのスイカは最高!

大地宅配  
定期会員限定

これまで恒例のスイカ食べ比べを「畑のお手伝い&食べ比べ」企画にリニューアルします。例年のスイカ食べ比べは、千葉畑の会の皆さんが、毎年、冬の間から準備してくれてきたものを一気に食べる、スイカ好きにはたまらない企画なのですが、準備・開催のために、畑の草取りが後回しになってしまうこともあり。そこで、少しでもお役にたてるようにと、今回から、草取りや収穫などを企画に加えることにしました。みんなで一緒に汗を流してからスイカは最高です。農園で収穫したばかりのトウモロコシやジャガイモなどのごちそうも待っています。暑い一日、畑で汗を流してから、スイカをガブッとやりましょう。



恒例のスイカの食べ比べ

2016.7.17(日) 10:00 - 13:30

●訪問先…千葉畑の会・内田さんの畑(千葉県八街市)※JR総武線「八街駅」よりタクシーで約20分。※自家用車の場合は関東自動車道「佐倉IC」より約30分。●駐車場…あり(無料) ●講師…内田農園・千葉畑の会の皆さん ●参加費…大人(中学生以上)2,000円、子ども(小学生)1,000円、未就学児無料 ●定員…70名 ●受付締切…6月24日(金) ●お問合せ…CSR推進部・秋元

※当日スタッフ募集(若干名) 運営に協力して下さるスタッフ(大人のみ)を募集いたします。備考欄に「当日スタッフ希望」とご記入ください。追ってご連絡します。



今回は草取りや収穫など農作業も

## No. 02 夏の三浦・とうもろこし収穫祭

夏の醍醐味! 三浦とうもろこし収穫祭と海辺遊び

三浦の黒崎有機栽培研究会の皆さんと一緒にとうもろこしの収穫祭。しっかり実ったとうもろこし畑をかき分けて進む体験は、お子さんにとってちょっとした冒険気分を味わえるものになるかもしれません。太陽の恵みを体いっぱいに取り取って、もぎたての生のとうもろこしを味わう時間はまさに至福のとき。この時期、暑い盛りだからこそ、夏の潮風がいつそう気持ち良く、収穫の喜びを感じるひとときです。ぜひ遊びに来てください。 ※開催日は、梅雨も明け、暑さが厳しいことが予想されます。畑、海岸にはいずれも日陰はありません。当日は日除けテントやパラソルをご用意いたしますが、数に限りがございます。ご参加の際には、帽子、十分な飲み物、日除けテントなどのご準備をお願いいたします。



子どもたちもガブリ

2016.7.30(土) 11:00 - 13:30

●訪問先…黒崎有機栽培研究会(神奈川県三浦市)※京浜急行「三浦口駅」より徒歩20分。※自家用車でのご参加はできません。●駐車場…なし ●講師…黒崎有機栽培研究会の皆さん ●参加費…大人(中学生以上)2,500円、子ども(3歳以上)1,500円、未就学児無料(とうもろこし代、スイカ代、各作業体験代を含む) ●定員…300名 ●受付締切…7月1日(金) ●お問合せ…CSR推進部・鈴井

※当日スタッフ募集! 大勢が参加するこのイベントを安全に進めるため、運営に協力して下さるスタッフ(大人のみ)を募集いたします。備考欄に「当日スタッフ興味あり」とご記入ください。追ってご連絡します。



もぎたて、ゆでたてをどうぞ

## No. 03 太陽油脂石けん工場見学会

<親子限定>小学4~6年生向け

大地宅配  
定期会員限定

身体と環境にやさしい石けんのことを学びましょう。訪問先は、天然油脂が原料の無添加石けんなどを68年前から作り続ける太陽油脂さん。太陽油脂の石けん工場を見学したあと、太陽油脂の社員の方から石けんのお話を伺います。石けんと合成界面活性剤の違いを勉強しましょう。大好評の石けん作りにも挑戦! 夏休みの自由研究にもおすすめです。親子でご参加ください。



2016.7月29日(金) 13:30-16:00

●会場…太陽油脂(横浜市神奈川区)※京浜急行「子安駅」より徒歩8分 ●駐車場…なし ●講師…太陽油脂 ●参加費…お子さん1名につき500円(石けんキット代1セット分として) ●定員…親子15組 ●受付締切…7月1日(金) ●お問合せ…CSR推進部(担当:生活文化チーム・野村)

※対象は小学4~6年生です。必ず保護者の方がお付き添いください。 ※託児はありません。



みんなで石けん作り

## No. 04 ダンボールコンポスト講座

<簡単キット付>生ごみが堆肥に生まれ変わる!

昨年好評だった生ごみをベランダで手軽に堆肥にできる講座。スターキットを購入すれば、持ち帰ってすぐに始められます。数ヵ月後には、マイ堆肥で野菜作り・花作りしてみませんか? 昨年度の受講者は、堆肥診断もします。ひとにぎり、マイ堆肥をお持ちください。



ダンボールコンポストのキット

2016.6.25(土) 13:30-16:00

●会場…大地を守る会 六本木事務所 3階会議室(港区六本木)※東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木駅」3番出口より徒歩5分 ※エレベーターはありません。●駐車場…なし ●講師…環境を考え行動する会・天野さん、大地を守るエコ研究所・由良さん ●参加費…無料 ※スターキットは別途2,000円 ●定員…30名 ●受付締切…6月17日(金) ●お問合せ…CSR推進部(大地を守るエコ研究所・上田)

## No. 05 夏休み子ども料理教室

作ってみよう! カレーとフルーツサラダ

大地宅配定期会員限定

今年の夏休み、子どもたちが自分で食事を用意できるようになったらいいですね。メニューはカレーとデザート兼用のフルーツサラダ。子ども向け料理教室…と聞いて侮るなかれ、講師はベジタ講座でお馴染みの井上穹子さんです。調理は簡単でも味はワンランク上の作り方を教えて下さい。子どもたちにはお料理する楽しさも味わってほしいですね。なりたてのおいしいチャマ、おばあチャマどうぞ。

2016.7.30(土) 10:00-15:30

●会場…江東区総合区民センター・調理室(江東区大島4-5-1) ※都営新宿線「西大島駅」A4出口より徒歩1分 ●駐車場…なし ●講師…井上穹子さん ●参加費…大人(中学生以上):2,000円、小学生:1,500円、未就学児:1,000円 ●定員…親子25名(大人10名、子ども15名) ●受付締切…7月15日(金) ●お問合せ…CSR推進部・きたじま 来島

